

ブルー&ラズ・ベリーの郷づくり事業

取り組みに至る背景・事業の目的

- 「チーム志平」は、平成 18 年 7 月の豪雨災害の土石流の被害に遭った住民や災害復旧作業でともに汗を流した仲間が、地域の活性化につながることを自分たちの手で手がけようと結成した。
- 岡谷市志平地区では、野生鳥獣による農作物被害により遊休荒廃農地が多く発生しており、これらを解消するため、地域で栽培実績のないブルーベリーとラズベリーの農園整備を行い、遊休荒廃農地の有効活用を図る。
- 遊休荒廃農地を活用し、地元の小学生等を対象とした農業体験を行い、「取ったり、食べたり、見つけたり」といった食と農業の学習を通じて、思いやりと感動する心を養う。

事業内容

- 遊休荒廃農地の復旧、ブルーベリー、ラズベリーの植樹、鳥獣被害対策として防護柵の設置を行った。
 - ・ 復旧面積 A=10 a
 - ・ 小学生によるブルーベリー植樹 160 本
 - ・ 防護柵の設置 135m
- 農業体験学習の推進
 - ・ 地元小学生等による植樹、摘み取り体験を実施
 - ・ 植樹 52 名の小学生が参加
 - ・ 摘み取り 小学生 23 名、保育園児 78 名参加



事業効果

- 計画的に遊休荒廃農地の復旧を行い、事業開始から累計で 45 a の復旧ができ、美しい農村景観の保全が図られた。また、防護柵を設置したことで、鳥獣被害の軽減が図られた (△1,000 千円)。
- ブルーベリーとラズベリーをきっかけに、収穫物の加工・販売など地域活性化につながる事業への展開が期待できる。
- 地元小学生や保育園児を対象とした植樹・摘み取り体験を通じて農業や地元の山に親しむ心が醸成された。



【農地整備、植樹の様子】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 今後の主な取り組み
 - ・ 栽培面積を拡大
 - ・ 学校給食への提供やジャムづくりなど収穫物の加工、直売所での販売を実施
 - ・ 観光農園を作り、農園を利用した都市住民との交流を実施

【選定のポイント】
 事業を通じて遊休農地の解消が進んでおり、今後も農地を活用した農業体験や栽培した作物の加工や販売など地域ぐるみの活動の継続・発展が期待できる。

団体名 チーム志平 (岡谷市) 連絡先 事務局 高林 栄治 電話 0266-24-4513	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">事業タイプ</td> <td style="padding: 2px;">ソフト・ハード事業</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">事業費</td> <td style="padding: 2px;">403,081円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">支援金額</td> <td style="padding: 2px;">340,000円</td> </tr> </table>	事業タイプ	ソフト・ハード事業	事業費	403,081円	支援金額	340,000円
事業タイプ	ソフト・ハード事業						
事業費	403,081円						
支援金額	340,000円						